

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 22, No. 1 神奈川県立生命の星・地球博物館 Mar., 2016



## シカによる過度の採食で 変わり果てた森林

シカによる過度の採食で壊滅した森林環境(1～3, 山梨県増富; 4, 神奈川県丹沢; 5, 6, 静岡県南アルプス)と健全な森林環境(7, 新潟県笹ヶ峰)。いずれも初夏から晩夏。

わたなべきょうへい  
渡辺恭平 (学芸員)

写真は近年日本各地で昆虫を調査したフィールドです。シカによる過度の採食のため、多くの森林で下層植生が失われています。酷い場合は樹皮が剥され(図1)、木の枯死も生じています。

シカの過度の採食による生物の減少は、あるレベルに達した瞬間に表面化します。その後、森林は“ゴースタウン”化し、多くの生物が姿を消します。実際に、シカの過度の採食による下層植生の破壊や、それに伴う乾燥化により、各地で昆虫をはじめとする生物の著しい減少・

地域的な絶滅が生じています。

近年、各地でこうした被害を防ぐための対策が始まっています。しかし、これまで被害が表面化していない場所では危機感を持たれにくく、わかったときには、すでに被害が大きくなっている傾向があります。

これまでシカによる過度の採食が見られなかった箱根でも、急に被害が目立ち始めました。被害を防ぐためには、我々一人ひとりもシカによる過度の採食について理解を深め、身近な自然環境の「いま」を知る必要があるでしょう。